

琉球・沖縄 年中行事

？なんでも！ Q&A

干支と方位の関係



●Answer

沖縄市・コザ山 球陽寺 前住職
帰依 龍照 (きえりゅうしょう)

Q

那覇市に新築しました。近々、沖縄市から引越す予定です。しかし、急に親戚のおばさんたちから引越し先の干支(午)と主人の干支(午)が重なっているの、トートローメーの移動はもろろん、引越し自体もできないといわれました。まだ、返済も始まっていないのに、この家を売り払いなさいとまで言われています。おばさんたちが納得する、沖縄のアドバイスをお願いいたします。(沖縄市・50代女性)

A

それは一大事ですね。沖縄のしきたりの事例をもとに、一緒に問題解決していきましょう。

北(子) 東(卯)
南(午) 西(酉)

沖縄では、北の方位をニーフア(子の端)、東の方位をウーフア(卯の端)、南の方位をシヌーフア(午の端)、西の方位をトウイヌーフア(酉の端)ということがあります。(※注 仏式の考え方は異なります) 通常は東西南北の順で記載しますが、干支に合わせる為(ここでは北(子)、東(卯)、南(午)、西(酉)の順に記載しています)。

今回、午の干支が問題になっていますので、その南の方位を調べてみましたが、厳密には沖縄市から見て那覇市

は南のシヌーフアには該当していません。沖縄の数ある方位の解釈の一部には、引越し先がおおむね南のシヌーフアに該当したとしても、さらにその南の方位をメーンマ(前午・南の方位の中でも、やや東の方位よりという考え方)、ナカンマ(中午・真南)、クシンマ(後午・南の方位の中でも、やや西の方位よりという考え方)と三分割し、ナカンマ以外のメーンマとクシンマは、真南ではないことから、南の午には該当しないと解釈し、そのまま引越しを行っても大丈夫との考え方があります。

想像の域を超えませんが、親戚のおばさんたちがおっしゃる午の干支の南の方位とは、ざっくりとした、だいたい午の干支の南の方位という判断でのアドバイスなかもしれませんね。その点では、新居はすでに方位の問題には該当していませんので、まずは取り急ぎ「安心ください。しかし、ここは先輩方に敬意を表し、午の干支の南の方位がきつちり該当していると仮定し、沖縄のしきたりを勉強してみるのも貴重な経験かと思えます。

施主の干支を是正する方法 代理の施主を立てる

もしも、施主の干支と引越し先の干支が重なった場合、沖縄ではその引越しの

当日だけ、干支の該当しない家族と二時的に施主を交代して、施主の代理を立てる方法があります。これはあくまでも引越しにあたり、台所にシヌーフアという味噌と塩を置く、施主の役割であったり、ウグワンの報告での施主の名前の言い換えだけに限ったあの意味、沖縄の儀礼的な代理ということですので、簡易的な是正方法といえます。

引越し先の方位を是正する方法

干支に該当しない方位から引越しを行う

この考え方は、午の干支の南の方位への引越しができなければ、南以外の別の方位からその引越し先へ向かうという考え方です。例えば、厳密には東西南北の方位とは異なりますが、沖縄市から那覇市へ向かうのではなく、一度、糸満市へ南下して、それから那覇市へ向かうと、午の干支の南の方位への引越しではなく、糸

という発想の転換です。

このように、問題の方位からではなく、別の方位を経由していく是正方法は、沖縄のしきたりに詳しい方々でしたら、二度は耳にしたことがあるほど有名な考え方です。ぜひ判断材料の一つとして、記憶にとどめていただければと思います。親戚のおばさんたちも、この是正方法をこ存じたといいですね。

真心があれば、通る

沖縄では、「真心があれば、通る」とよく言われます。この格言が示すように、沖縄のしきたりは、「できないことが前提ではなく、できることが前提」のポジティブなプラス発想が根底にあるといえます。言いかえれば、みんなが幸せになる考え方でも申しましようか。沖縄のしきたりは、本当に素晴らしい文化ですよ。どうぞ、那覇市の夢のマイホームで幸せな日々を送ってください。

